

令和 3 年 3 月 26 日

古賀市議会  
議長 結城 弘明 様

予算審査特別委員会  
委員長 森本 義征

### 令和 3 年度予算審査特別委員会 審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を、会議規則第 110 条の規定により報告いたします。

#### 記

予算審査特別委員会に議会会期中の審査として付託を受けておりました、第 14 号議案「令和 3 年度古賀市一般会計予算について」から第 20 号議案「令和 3 年度古賀市下水道事業会計予算について」までの 7 議案について、審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際しましては、市長、副市長、教育長をはじめ関係部長、課長等の出席を求め、予算概要の説明を受けるとともに、各委員による資料要求に基づく資料等を参考に、去る 3 月 11 日から 3 月 18 日まで計 4 日間、審査を行い、3 月 23 日に自由討議、討論、採決を行いました。

一般会計予算の審査概要としましては、歳出における特徴的な事業として、総務費関係では、①総合計画策定委託 14,839 千円。②路線バス運行補助金 50,102 千円。③交通ネットワーク再構築委託 7,150 千円。④地方創生推進事業費 93,545 千円のインキュベーション関連委託料等の委託料試算の見込み、業者選定の問題点及び内容について。

民生費関係では、①避難行動要支援者対策事業費 1,976 千円の個別計画策定事業の進捗状況、管理システム等。②地域福祉振興事業費のコミュニティソーシャルワーカー委託 7,074 千円の事業の継続性等について。

衛生費関係では、①感染症対策事業費 547,163 千円のワクチン接種に係る接種開始のスケジュール、対象者見込数、接種会場、予約方法、接種後の副反応対応と責任体制等。②おたふくかぜ任意予防接種費用助成金の自己負担等について。

商工費関係では、商工業活性化事業費 10,159 千円及び観光振興事業費 8,103 千円の地域おこし協力隊等について。

農林水産業費関係では、女性農業者支援事業費 392 千円及び農業者育成事業費 12,015 千円のクラウドファンディング等について。

土木費関係では、①古賀駅周辺整備事業費の古賀駅東口周辺地区空間整備ガイドライン検討委託 33,132 千円。②道路改良事業費の後牟田大池線道路改良工事 113,243 千円等について。

消防費関係では、①災害対策事業費の総合防災マップ配布委託 944 千円。②避難所用パーティション 4,730 千円等について。

教育費関係では、①小・中学校関連で ICT 化推進事業費の通信環境の問題等。②就学援助事業費

の増額等について。他に、③児童生徒生活環境改善事業費のスクールソーシャルワーカー謝礼 3,402 千円。④中学校大規模改造事業費 435,200 千円の古賀北中学校教室棟大規模改造工事等。⑤図書館運営事業費の電子図書購入費 2,003 千円の利用者の現況。⑥青少年育成費の少年の船活動事業補助金 1,300 千円の事業の効果、成果と課題、事業報告書の未確認、スタッフ 20 名の根拠、スタッフ及び児童の自己負担金の是非、事業の意義、補助金審査委員会での廃止判断の指摘等。⑦生涯学習センター管理費 55,782 千円の維持管理及び使用料負担等について。

予備費関係では、その他特別職の職員数及び報酬減について。

歳入の質疑では、①地方特例交付金の新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 292,000 千円の中小企業等に対する固定資産税の軽減措置について。②総務管理費国庫補助金の地方創生テレワーク交付金 44,250 千円の活用決定及び対象施設について。

歳出全般については、①新規事業の一覧とそれぞれの予算規模（財源内訳）及び SDGs の目標との関連付けについて。②中長期財政計画と関連する事業別財政見通しの「政策過程のもの」について。

以上について質疑を行いました。

また、今回の質疑の中では、市長質疑が 1 件行われました。その内容は、地方創生推進事業費 93,545 千円に係る温泉施設インキュベーション促進事業等についてであり、

- ①収支見通しを市民、議会に提示することについての問いに、収支見通しは受託事業者が提案。
- ②地方創生テレワーク交付金活用を判断したことについての問いに、国の第 3 次補正予算で地方創生テレワーク交付金という新たな制度で地方自治体を支援することが決定したことを受けて判断した。
- ③実施計画策定についての問いに、内閣府に必要な照会を行いながら、当初予算案の査定スケジュールに沿って庁内で意思決定を行った。
- ④推進体制の見直しについての問いに、経営戦略課への特命は変更しない。

以上について、簡単にまとめましたが質疑及び市長から積極的な答弁がありました。

特別会計予算の審査概要としましては、住宅新築資金等貸付事業特別会計予算では、貸付金元利収入の滞納繰越分 200 千円について。国民健康保険特別会計予算では、①特定健康診査等事業費の健診未受診者受診勧奨事業委託 4,854 千円の AI 活用受診勧奨事業等について。②総務管理費の市町村事務処理標準システム導入委託 25,102 千円のシステム構築の効果等について。後期高齢者医療特別会計予算では、後期高齢者医療保険料 638,568 千円の保険料増について。介護保険特別会計予算では、①認知症総合支援事業費 282 千円の事業計画等。②介護保険料 964,546 千円の増の理由等について。水道事業会計予算では、①総係費の報償費の市民討議会費（プラーヌンクスツェレ）250 千円の開催計画と運営方法等。②水道料金 1,050,305 千円の給水計画の詳細等について。下水道事業会計予算では、雨水管理総合計画策定委託の目的及び策定スケジュール等。

以上について質疑を行いました。

全ての質疑の終了後、委員からの提案を受け、一般会計予算の公共交通網整備事業費について、

自由討議を行いました。

提案者の趣旨説明では、宗像市日の里地区で始まった AI オンデマンドバスの実証実験を参考に古賀市においても検討を求めたらいかがかというものでした。

自由討議では 7 名の委員が発言し、活発な議論となりました。

- ①AI オンデマンドバスは効率性もよく、市民の利便性が高まることが期待される。県の補助金が令和 4 年度までとなっていることから、令和 3 年度中に検討し、令和 4 年度から実証実験を開始できるよう市に対し、要望すべきである。
- ②古賀市の特性や JR 古賀駅東口周辺の整備もあわせ、将来的な公共交通の在り方を検討すべきである。
- ③公共交通は福祉であるという視点を踏まえ、路線バスの維持を望む。
- ④来年度行う予定の公共交通ネットワーク再構築の取組を徹底して行うことを求めるべきである。
- ⑤議会の中で AI オンデマンドバスについて調査研究を行ったり、議員もバスに乗ったりすることも大事である。

内容は以上のおりであります。執行部に置かれましては、こうした意見を受け止め、来年度の公共交通網整備事業に取り組まれることを望みます。

第 14 号議案の討論では、公共交通、防災対策、生活道路の改善について問題が多く反対。施政方針質疑、大綱質疑、特別委員会での詳細質疑、市長質疑及び一般質問における市長、執行部の答弁を踏まえ、総合的に判断して賛成とのことであり、採決の結果、第 14 号議案は、賛成多数で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 15 号議案の討論では、国、県からの住宅新築資金等償還推進助成事業の補助などを活用しての解決や完済を進めるために賛成とのことであり、採決の結果、第 15 号議案は、賛成全員で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 16 号議案の討論では、均等割の廃止や保険税引下げに関して市民の要望にできていない状況なので反対とのことであり、採決の結果、第 16 号議案は、賛成多数で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 17 号議案の討論では、高齢者の皆さんは負担が増えるということで非常に心配をしている。安心の医療体制になっていないという点で反対とのことであり、採決の結果、第 17 号議案は、賛成多数で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 18 号議案の討論では、2021 年度から 2023 年度の介護保険料が基本月額 4,800 円から 5,100 円に引き上げられる。300 円の値上げとはいえ、負担増になることから反対とのことであり、採決の結果、第 18 号議案は、賛成多数で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 19 号議案の討論では、なるべく安価に供給できるよう北九州市水道用水供給事業の水などを利用して、値上げを抑えるように要求しているが、実現できていないために反対とのことであり、採決の結果、第 19 号議案は、賛成多数で原案のおり可決すべきものと決定しました。

第 20 号議案の討論では、下水道設備が埋設された地域でも、未接続の件数も多く、下水道使用料金の引下げを求めている市民の要望にできていないという点から反対とのことであり、採決の

結果、第 20 号議案は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査では、政策運営に対して大変厳しい意見が多数上がっておりました。提案された予算案は全て可決すべきものと決定しましたが、予算の執行にあたり、市長におかれましては、各委員から出された要望等を真摯に受け止めていただき、市政に反映していただきますよう願います。

最後に、新型コロナウイルス感染症対応等で繁雑の中、当初予算説明資料や施政方針説明資料、各委員からの資料要求に基づく 202 件の資料が提出されました。予算に関連する資料が事前に提出されたことで、審査の充実が図られたことに対し、執行部の御協力に感謝申し上げます。

以上、令和 3 年度予算審査特別委員会審査の概要報告を終わります。